

## 第2回部活動ガイドライン策定委員会の概要について

- 1 期 日 平成29年11月27日（月） 13:00～14:30
- 2 会 場 東葛飾研修所 第1研修室
- 3 出席者 医師会代表（1名） 保護者代表（2名） 校長会代表（1名）  
教頭会代表（1名） 教員代表（4名） 小中体連関係者（2名）  
教育委員会（7名）
- 4 内 容 ○調査内容に基づいた部活動の在り方について
  - ・児童生徒及び教員の健康維持（活動時間、休養日設定）
  - ・市行事の見直しについて
- 5 協 議
  - ・第1回策定委員会議事内容の確認（事務局より説明） ・市内部活動の実態に関する調査報告（事務局より説明）
  - ・小中学校同一のガイドラインの策定は、困難である。活動時間や日数及び休養日の設定については、小中学校分けて検討する。
  - ・保護者、教員、子どものバランスが必要だと思います。
  - ・中学校では土日どちらかは休養日とすべきだと思う。しかし大会や練習試合もあり、休みを取るのが難しい状況にある。
  - ・小学校については大会前などには活動がある。しかし土日はほとんど行っていない。
  - ・保護者の中にもやって頂いて有り難いと思う親もいれば、休みがなくて家でのご飯が食べられないと思っている親もいて様々いる。
  - ・顧問を決める時などは、やりたい種目ということではなく、ある程度専門性を加味していただきたい。専門性があると基本的なことも理解しており、生徒の怪我防止にもつながるのではないかと思う。
  - ・今の現状を考えると、やはり市として1つの柱を立てた方が、良いのではないか。
  - ・ガイドラインを市として作成することで、保護者にも説明がつく。また作る時にはシンプルな内容にした方が保護者などにも浸透しやすい。
  - ・顧問には専門性のある先生と、そうでない先生がいる。先生方は親も含めた信頼感を失うことにとっても不安を感じているのではないかと思う。指導力向上のための講習会や練習試合などを、やっていく必要がある。
  - ・活動日数や時間、休養日については、市として枠を持つべきだと思う。しかしあまり決めつけられないほうが良い。ただ疲労回復の観点から、土日一方は休みにして、活動してしまった場合には平日に朝放課後1日休みをとる等にしておいたらいかがか。
  - ・次回については今回のご意見をまとめ、活動日数や時間及び休養日の設定について、枠を示し、決定していく。